

作成日 2021/06/02

改訂日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	AMV042
供給者の会社名称	安藤パラケミー株式会社
住所	東京都中央区八丁堀3丁目25番7号
担当部門	営業管理室
電話番号	03-3523-8181
FAX番号	03-3523-8188

2. 危険有害性の要約
化学品のGHS分類

物理化学的危険性	引火性液体 区分3
健康有害性	皮膚腐食性／刺激性 区分3
環境有害性	水生環境有害性 短期(急性) 区分1 水生環境有害性 長期(慢性) 区分1 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示

注意喚起語
危険有害性情報

警告
H226 引火性液体及び蒸気
H316 軽度の皮膚刺激
H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き
安全対策

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。(P210)
容器を密閉しておくこと。(P233)
容器を接地しアースをとること。(P240)
防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。(P241)
火花を発生させない工具を使用すること。(P242)
静電気放電に対する措置を講ずること。(P243)
環境への放出を避けること。(P273)
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)

応急措置

皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。(P302+P352)
皮膚又は髪に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。(P303+P361+P353)

皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察／手当てを受けること。(P332+P313)
火災の場合: 消火するために適切な消火剤を使用すること。(P370+P378)

保管

漏出物を回収すること。(P391)
換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。(P403+P235)

廃棄

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
グリコールエーテル系化合物	55-65%	—	既存	既存	非公開
炭化水素	25-35%	—	既存	既存	非公開
炭化水素	5-15%	—	既存	既存	非公開

4. 応急措置

吸入した場合

皮膚に付着した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

特別な処置が必要である。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚又は髪に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ又は取り除くこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。

眼に入った場合

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。

粉じんが発生している時は乾燥砂を用いる。

使ってはならない消火剤

棒状水。

火災時の特有の危険有害性

燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。

特有の消火方法

消火作業は、風上から行う。

周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。

環境に対する注意事項

多量の場合、人を安全な場所に退避させる。

必要に応じた換気を確保する。

漏出物は回収すること。

漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

少量の場合、吸着剤(土・砂・ウエスなど)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾などでよく拭き取る。大量の水で洗い流す。

多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラムなどに回収する。

二次災害の防止策

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。

漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
 容器を接地すること。アースをとること。
 火花を発生させない工具を使用すること。
 防爆型の電気機器、換気装置、照明機器等を使用すること。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。
 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

安全取扱注意事項

涼しい所に置くこと。
 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。

保管

接触回避

『10. 安定性及び反応性』を参照。

安全な保管条件

『10. 安定性及び反応性』を参照。

施錠して保管すること。

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
グリコールエーテル系化合物	未設定	未設定	未設定
炭化水素	未設定	未設定	未設定

設備対策

蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。
 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
 機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。

保護具

呼吸用保護具

必要に応じて、適切な呼吸器用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用すること。

眼、顔面の保護具

保護眼鏡、保護面を着用すること。

皮膚及び身体の保護

保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

以下の物理的、化学的性質は安全管理上有用な代表値であり、仕様や規格値ではない。

物理状態

液体

形状

液体

色

無色

臭い

データなし

融点／凝固点

データなし

沸点又は初留点及び沸点

171-175℃

範囲

可燃性

データなし

爆発下限界及び爆発上限 下限

データなし

界／可燃限界

上限

データなし

引火点

56℃(密閉式)

自然発火点

データなし

分解温度

データなし

pH

データなし

動粘性率

データなし

溶解度

データなし

n-オクタノール／水分配 係数		データなし
蒸気圧		データなし
密度及び／又は相対密度		0.83 (20℃)
相対ガス密度		データなし
粒子特性		データなし
10. 安定性及び反応性		
反応性		情報なし
化学的安定性		通常の使用、保管条件において安定
危険有害反応可能性		情報なし
避けるべき条件		過熱、着火源との接触
混触危険物質		強酸化剤
危険有害な分解生成物		情報なし
11. 有害性情報		
急性毒性	経口	毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため分類できない。
	経皮	毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため分類できない。
	吸入	毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため分類できない。
皮膚腐食性／皮膚刺激性		軽度の皮膚刺激性がある。
眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性		データ不足のため分類できない。
呼吸器感作性		データ不足のため分類できない。
皮膚感作性		データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性		データ不足のため分類できない。
発がん性		データ不足のため分類できない。
生殖毒性		(生殖毒性) データ不足のため分類できない。
		(生殖毒性・授乳影響) データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回 ばく露)		データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(反復 ばく露)		データ不足のため分類できない。
誤えん有害性		動粘性率が不明のため、分類できないとした。
12. 環境影響情報		
水生環境有害性 短期 (急性)		区分1の成分を10%以上含む。
水生環境有害性 長期 (慢性)		区分1の成分を10%以上含む。
生態毒性		データなし
残留性・分解性		データなし
生体蓄積性		データなし
土壌中の移動性		データなし
オゾン層への有害性		データ不足のため分類できない。
13. 廃棄上の注意		
残余廃棄物		廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
		内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。
汚染容器及び包装		容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

焼却に際しては引火性物質を含むので注意して行う。

14. 輸送上の注意 国際規制

海上規制情報	IMOの規定に従う。
UN No.	1993
Proper Shipping Class	その他の引火性液体(他の危険性を有しないもの)
Packing Group	3
Marine Pollutant	Ⅲ
Liquid Substance Transported in Bulk According to MARPOL 73/78, Annex II, the IBC Code	applicable
	Not applicable

国内規制

航空規制情報	ICAO/IATAの規定に従う。
UN No.	1993
Proper Shipping Class	その他の引火性液体(他の危険性を有しないもの)
Packing Group	3
陸上規制	Ⅲ
海上規制情報	消防法の規定に従う。
国連番号	船舶安全法の規定に従う。
品名	1993
クラス	その他の引火性液体(他の危険性を有しないもの)
容器等級	3
海洋汚染物質	Ⅲ
MARPOL 73/78 附属書Ⅱ 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質	該当
航空規制情報	非該当
国連番号	航空法の規定に従う。
品名	1993
クラス	その他の引火性液体(他の危険性を有しないもの)
等級	3
緊急時応急措置指針番号	Ⅲ
	128

15. 適用法令

化審法	構成成分はすべて既存化学物質
労働安全衛生法	危険物・引火性の物(施行令別表第1第4号)
毒物及び劇物取締法	非該当
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	非該当
消防法	第4類 引火性液体 第二石油類(非水溶性)
大気汚染防止法	揮発性有機化合物(法第2条第4項)(環境省から都道府県への通達)
海洋汚染防止法	油性混合物(施行規則第2条の2)
	有害液体物質(X類物質)・油性混合物(施行令別表第1第1号イ(81))
船舶安全法	引火性液体類(危規則第3条危険物告示別表第1)
航空法	引火性液体(施行規則第194条危険物告示別表第1)
港則法	その他の危険物・引火性液体類(法第21条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表)

16. その他の情報

連絡先

参考文献

その他

情報なし

厚生労働省:職場のあんぜんサイト

NITE:化学物質総合情報提供システム

メーカーSDS

JIS Z 7252/7253:2019

この文書は、危険有害な化学製品について使用者が安全な取扱いを実施するための情報として提供されるものです。この文書に含まれる情報および推奨事項は、安藤パラケミー(株)が有する情報および知見の範囲の限りで、発行時において正確且つ信頼できるものですが、この文書そのものは規格でも安全を保証するものでもありません。この文章が最新版であることを確認する場合は安藤パラケミー(株)にご連絡ください。この文書の情報および推奨事項は、使用者による検討、調査のために提供されています。使用者はこれを参考として、使用者の責任において取扱いの実態に応じた適切な処置を施してください。本製品を購入者が再販、譲渡する等の理由で荷姿を変更する場合、購入者の責任において適切な警告表示、安全な取扱い手順を、必ず使用者または取扱者に提供して下さい。この文書を全体的または部分的に変更することは強く禁じられています。